

作成日 20 24 年 7 月 19 日
(最終更新日 20 年 月 日)

「情報公開文書」 (Web ページ掲載用)

受付番号 : 5050

課題名 : 開心術直後に導入する閉鎖式持続陰圧療法の術後縦隔炎予防効果に関する研究

1. 研究の対象

2015.7 から 2024.5 までの間に防衛医大病院で単独冠動脈バイパス術を受けられた患者

2. 研究期間

学校長承認日から 2024 年 11 月 30 日まで

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

当院で試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始予定日 : 2024 年 9 月 1 日

提供開始予定日 : 該当なし

4. 研究目的

開心術において胸骨正中切開は、術野への標準的到達方法です。一方で術後の胸骨正中切開創感染は、稀 (0.3~10%) であるが重篤な合併症です。術後縦隔炎の発症は、在院死亡を増加させるだけでなく患者の中長期成績にも影響することが知られています。また発症すると治療期間も長くなり患者の ADL 低下の原因にもなっています。発症の要因には、患者因子のみならず医療者側の因子も関与していることが知られています。対策としてさまざまな方法が取られてきましたが、未だこの合併症を完全に予防することは達成できていません。近年感染創への閉鎖式持続陰圧療法の有効性が広く認識されています。これを開心術直後より導入し術後縦隔炎の発生率が低下したとの成績を報告した論文が出始めています。当科でも 2021 年 3 月より冠動脈バイパス術症例に予防的に閉鎖式持続陰圧療法を導入し良好な成績を得ています。

(目的) 冠動脈バイパス術終了直後に導入する閉鎖式持続陰圧療法の術後縦隔炎予防効果につき retrospective に検討します。

5. 研究方法

2015 年 7 月から 2024 年 5 月までの間に当院で実施した冠動脈バイパス術症例 193 例の術後縦隔炎発症率を正中創管理方法によって 3 群に分けて比較検討します。

6. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：入院カルテ
試料：無

7. 外部への試料・情報の提供
該当なし

8. 研究組織
本校単独研究

9. 研究費・利益相反（企業等との利害関係）について
講座研究費・利益相反 無

10. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。ご了承いただけない場合、得られた試料・情報は全て破棄します。ただし、ご了承いただけない旨の意思表示があった時点で既に研究成果が公表されていた場合など、データから除けない場合もあります。研究への利用を拒否することを決められた場合、下記の連絡先までお申出ください。

当院における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

担当者の所属・氏名：防衛医科大学校病院外科（心臓血管・呼吸器）科 堤 浩二
住所：〒359-8513 埼玉県所沢市並木 3-2
連絡先：04-2995-1511（内線 5570）電話対応時間 9時から 16時
Con318@ndmc.ac.jp

当院の研究責任者：防衛医科大学校病院外科（心臓血管・呼吸器）科 堤 浩二